JFAU-12サッカーリーグin山梨県　レギュレーション

項目	内　容	説　明
名称	JFA U-12サッカーリーグ2024in山梨県	2017年11月よりJFAの公式大会として名称は「JFAU-12サッカーリーグ」となりました。 公式戦への参加は、4種登録チームの義務であり、リーグの目的を理解しその運営に協力することも求めるものです。
主催	公益財団法人日本サッカー協会・（一社）山梨県サッカー協会	
主管	（一社）山梨県サッカー協会・4種委員会	4種委員会での主管組織を明示した。 リーグ全体の運営をU-12リーグ運営委員会が、各グループリーグの実施を各グループごとの実行委員会が行います。
運営	（一社山梨県サッカー協会4種委員会・リーグ運営委会）及び（各グループ実行委員会）	
後援		後援団体等があった場合は掲示する。
期間	次の期間において4種委員会が指定する日に実施する。	「U-12リーグ戦マッチデー」の指定を行うことを示している。
	2023年4月～2024年3月の期間内に「リーグ戦マッチデー」を定め開催する。	マッチデーは基本的にリーグ戦を実施する日となります。
期日＆会場	各U-12リーグ グループ実行委員会での確保 【前期 】 ①4/7一、②4/14（日）球技場、③4/28（日）小瀬補助、④5/19（日）小瀬補助・球技場、⑤6/2（日）球技場　⑥6/16（日）小瀬補助・球技場、⑦7/6一、入替戦①9/8(日)予定	各グループは「U-12リーグ戦デー」に会場を確保することが原則となります。 4種委員会が、年間通じて会場の一部を確保すると共に、提供調整を行います。 実行委員会確保会場は必ず使用していただきます。
	【後期】U-11 ①10/6(日)小瀬補助　②12/8(日)小瀬補助、③1/12（日)一　④1/26(日)、球技場　⑤2/1(土)小瀬補助・球技場　⑥2/11(土)小瀬補助、入替戦3/2(日)小瀬補助予定　3/8(土)長坂総合G予定	「JFAU-12サッカーリーグ」はU-12・U-11・U-10リーグの総称であり 後期リーグは「U-11」年代での試合となります。
	■なでしこリーグ戦デー ①4/21(日)一　②5/18(土)球技場、③6/15(土)一、④9/15(日)一、⑤12/14(土)小瀬補助、⑥1/13(月祝)小瀬補助、⑦2/15(土)球技場	■7・8月を除く年間通して月1回実施 ■年間を通して普及と育成のための環境をつくる。 ■中途からの参加チームも受け入れる。 ■女子の試合出場特例を活かし試合及び機会を確保するため、U-12・U-11リーグ開催日と重複しない日程としています。
グループ研修	シーズン中にグループ研修を行います。 研修講師：YFA指導者養成部（キッズ含む） グループリーダーは、テーマ・日程・参加対象者等について事前に打ち合わせを行い、シーズン中必ず一度実施すること。 実施場所は、運営委員会が会場確保した小瀬補助・小瀬球技場での開催を推奨します。	U-12リーグ研修は主催するJFA補助金対象事業となっていることから、全ての参加チームを対象として実施されます。
目的・考え方	U-12リーグは、山梨のサッカー文化の創出を図るとともに、日本サッカーの将来を支える選手の育成環境として、トレーニング成果、課題を引き出す機会を提供することを目的とする。 目的を達成するため以下の考え方でリーグを構築します。 ①U-10年代からの継続した育成を目指します。 ②拮抗したリーグ戦を目指します。 ③価値のあるリーグ戦を構築します。 ④チャレンジできる環境を構築します。 ⑤リーグ戦の継続性を構築します。	年間を通じてリーグを開催し、日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、個々の選手を育てるためのゲーム環境を提供する。 ・3年構想 U-10年代は1年を通じて試合ができる環境を提供する。 U-11年代では前期U-12リーグ戦に参戦しチャレンジ環境を提供する。 U-11年代後半とU-12年代前半の1年を最終的なリーグ戦と考え1年を通じて試合ができる環境を提供する。 前期U-12から後期U-11関しては前期結果を反映する。 入れ替え戦の導入によりチャレンジの機会を増やす。 2023年度よりチャンピオンズリーグ(8チーム）を創設しより拮抗したゲーム環境を目指す。
目的の共有	本U-12リーグは、育成に目を向け、チームエゴに偏ることなく、指導者、保護者等関係者が協力して環境づくりに取り組むことで実現するリーグである。 目的を共有して事業運営に当たるため、以下の取り組みを行う。 ①グループリーグ実行委員会の設置による全チームの運営協力。 ②リーグ運営委員会の全体運営管理、指導。 ③技術部、審判部の関わりによる指導者育成体制の確立。 ④各チーム保護者も含めたサッカー文化の醸成。	各チームで目的を十分に認識した上で、公式戦の意味、試合の位置づけを理解し、試合結果の評価と課題への取組みを、選手・指導者が行うことが目指すべき姿である。 目的を共有した上で各チームの責務を示した。 ①グループリーグのすべての参加チームが、リーグを実施する主管者である。 ②各グループリーグは、リーグ運営委員会より運営管理、指導を受ける。 ③技術部、審判部は、指導者育成体制の確立への取り組みを提案し、各グループリーグはこれを実施する。 ④サッカー文化（サッカーを楽しみ、個の育成を図る）の醸成には、各チーム保護者も含めた理解と協力が不可欠である。
感染症対策	2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、公共施設の対応等が変更となり、4種委員会の健康チェックシート等による健康観察及び大会等に提出する一覧シート等も廃止といたしました。	インフルエンザや新型コロナを含む感染症は一年を通じて発生しています。 体調が悪い場合は参加を見合わせることで自分と仲間を守るという意識は大切です。

項目	内　容	説　明
チャンピオンズリーグ	チャンピオンズリーグ 前期　U12　8チーム ■2023 年度後期「U-11リーグ戦」成績により組合せを行います。 【備考】 ・グループリーグ前半はグループ全チームでリーグ戦を行う。後半は上位チームと下位チームでの順位リーグを行うことでより拮抗したゲームを目指します。 ・同一チーム（4種登録チーム）から2チームが出場することは認めない。	2023年度よりチャンピオンズリーグ(8チーム)を創設し、県内トップリーグという位置づけによりハイレベルで拮抗したゲーム環境を目指しています。
Gグループ編成	グレープリーグ（Gリーグ） 前期　U12 G-Red　8チーム　G-Blue　8チーム 後期　U-11 G-Red　8チーム　G-Blue　8チーム　G-White　8チーム ■2024年前期Gグループは2023年度後期リーグ成績により組合せを行います。 ・Gグループ　8チーム×2グループ ■2024年度後期U-11リーグは、2025年度チャンピオンズリーグ及びGグループ編成に向け、8チーム×3グループの24チームで編成する予定です。 【備考】 ・前半はグループ全チームでリーグ戦を行う。後半は上位4チームと対4チームでの順位リーグを行うことでより拮抗したゲームを目指します。 ■同一チーム（4種登録チーム）から2チームが出場することは出来ない。	チャンピオンズリーグを目指し切磋琢磨するハイクラスの段階のリーグを「グレープリーグ」と称し、略称を「Gリーグ」とする。 拮抗した試合環境を作るため3つの段階に分けてリーグを構成する。リーグ戦の定着からリーグを通じた育成・強化へと歩みを進めるための枠組みとなります。 ※「地域推薦枠」とは、U-11リーグ戦参入時にのみ、特別に地域より推薦を受けたチームに与える。新規登録チームや6年生が少ないが5年生が特にハイレベルであると認められたチーム。
Pグループ編成	ピーチリーグ（Pリーグ） 前期　U-12　8チーム(基本) P-Red　P-Blue　P-White　P-Green 後期　U-11　8チーム(基本) P-Red　P-Blue　P-White　P-Green Pグループは、Gグループ参入を目指す意思を持つチームを対象としたリーグ ■2024年度は23年度後期リーグの成績を考慮した編成を行います。 【備考】 ・前半はグループ全チームでリーグ戦を行う。後半は上位チームと下位チームでの順位リーグを行うことでより拮抗したゲームを目指します。 ①U-11チームの参加も認めます。 ②前期リーグ成績により各パート1位～2位はGグループ参入入れ替え戦に出場することが出来る。 ③地域推薦チーム「※」がある場合は②の入れ替え戦に出場できる。	将来チャンピオンズリーグやグレープリーグ昇格を目指す意思を持つチーム対象に「ピーチリーグ」と称し略称を「Pリーグ」とする。 U-11（5年生以下）チームの参加も可能とする（チャレンジエントリー） 1グループ8チームを基本とするがエントリー数によっては、運営委員会により2グループや12チーム以下で編成も行う。理事会承認を必要とする。 ※「地域推薦枠」とは、U-11リーグ戦参入時にのみ、特別に地域より推薦を受けたチームに与える。新規登録チームや6年生が少ないが5年生が特にハイレベルであると認められたチーム。
Sグループ編成	ストロベリーリーグ（Sリーグ） 前期　U-12 S-Red　7チーム（基本8）　S-Blue　7チーム（基本8） 後期　U-11 S-Red　7チーム（基本8）　S-Blue　7チーム（基本8） Sグループは、勝敗よりもゲームを通じてチャレンジできる環境を重視するリーグ。 【構成】 ・前半はグループ全チームでリーグ戦を行う。後半は上位チームと下位4チームでの順位リーグを行うことでより拮抗したゲームを目指します。 ①参加チーム数によりグループ数を調整します。	育成リーグとして、ゲームを経験する環境を提供することを目的に「ストロベリーリーグ」と称し「Sリーグ」を開催する。 勝利を追求することを目的としないが、一試合の価値は全カテゴリー共通であることから順位付けは行う。
なでしこ編成	なでしこリーグ なでしこグループ　6チーム(年間通じてU-12で実施) 女子で構成されたチームにより、年間を通じてリーグを実施する。 U-12年代の競技人口を増やすと同時に受け皿を増やす。 女子チーム：韮崎SCガールズ、HATTAメニーナ、フォルトゥナVogel、Uスポーツソラーレ、FCふじざくら山梨JE、 地域チーム：甲府U-12ガールズ	■女子の普及と育成の特例について ・2018年度よりリーグに参加する女子選手は登録チームの選手証を以て、なでしこリーグに参加する女子チームにも登録選手として参加を認める。 ■女子のみのチーム全てが男子と一緒のゲーム環境に適応できない現状がある。 ■なでしこリーグへの地域チームの参加を認める。 ※ミックスチーム（男女混合で活動しているチーム）の女子選手が集合しチームとして参加を認める。 ■課題として女子チームと合同チームの共存できるよう模索し普及と育成を図る ■課題として8人制審判の理解を深め、資質向上ため講習会等の実施

項目		内　容	説　明
参加資格	1	日本サッカー協会に第4種加盟し、山梨県4種委員会に所属するチームであり、また選手は当該チームに所属する選手であること。	
	2	複数エントリーを希望する場合は、加盟チームに対し2チームまで出場を認める。 但し、チャンピオンズリーグ及びGグループリーグにおいては登録チームから1チームのみ参加が認められ、2チーム目以降は参加することは出来ない。	**参加の特例①** ＊リーグが育成を目的とすることから、出場機会を確保するための特例。 　2チーム以上の参加は、加盟チームへの配慮でもあり、それ以上参加させたい場合は2チーム登録をすること。 ＊チームとしての参加（グループリーグ運営協力も含むチームの責務が担保されること）が前提となる。 ※登録チームから1チームのみ参加が可能とする理由：全日本シードやナンバーワンを目指す環境においては2チームが在籍することは推奨できない。
	3	前期においてU-11チームの参加を認める。 但し、ピーチグループとストロベリーグループへの参加とし、グループリーグ及びチャンピオンズリーグへの参加は認めない。 尚、U-12リーグに複数エントリーしてるチームの、U-11リーグへの参加を認めます。（U-12リーグ参加2チームの制限を受けません）	**参加の特例②** U-10からU-11からとステップアップをしていく中ですでに高いレベルを持ちU-12リーグに参入して拮抗した試合を経験できるチームがあればその場を提供することはリーグを通じて一貫した育成環境を整えるうえで必要と考える。 U-11チームの構成は5年生以下となります。ただし、女子選手についてはオーバーエイジ（一歳上の選手・6年生）の参加を認めます。 ■後期U－11リーグについてもオーバーエイジ女子選手の参加を認めます。 ■但し、入替戦については上記オーバーエイジ女子選手の出場は認めないこととする。
	4	U－12リーグへのチームエントリーは、運営委員会が指定する日までに各地区理事を通じて行うものとする。 エントリー票は自チームサイトから印刷する「チーム登録選手一覧票」を使用することといたします。 （KICKOFF大会エントリーシステムは使用しません）	■選手確認は、【メンバー表】と【チーム登録選手一覧票】又は【選手登録カード】（いずれも顔写真付き）で運用する。 ※シーズンが長期であることや運営は各カテゴリーやグループで行い警告退場等もグループで管理している（背番号の変更も可能）ことを考慮。 【チーム登録選手一覧表】をエントリー票とすることでチーム管理が容易となる。
	5	シーズン（リーグ開催期間中）に同一選手が本リーグ内の異なるチームへ移籍後、再び本リーグに出場する場合は、JFA「サッカー選手の登録と移籍等に関する規則」に準ずる。	シーズンは、各チームが属するリーグの最初の公式試合の日から、最終の公式試合の日までの期間とする。 選手は、1つのシーズン期間中につき、最大3つのチームに登録することができる。この期間中、選手は、最大2チームのために公式試合に出場する資格を有する。 （JFA選手の移籍規定）
		期間中、複数エントリーチーム間の選手移動を認めない。 シーズン中の前期・後期での移動は認める。	シーズン中の前期・後期での移動については、U-12からU-11への移行となることから認められる。
	6	資格について疑義が提出されたときは、本リーグ運営委員会において審議する。	リーグ運営の課題解決機関は、U-12リーグ運営委員会である。 4種委員会の了承を得ること、又規律・懲罰に関することはリーグ規律委員会を設けて対応する。 委員長は4種委員会委員長とし、委員については委員長が決定する。
	7	女子選手に対しては普及及び育成の観点からリーグにおいては参加が容易となるよう特例を設けています。	■2018年度よりリーグに参加する女子選手は自身の登録チームの選手証を以て、U-12サッカーリーグに参加する「女子チーム」への参加を認めています。 ■地域チームとして、ミックスチーム（男女混合で活動しているチーム）の女子選手が集合しチームとして参加することを認める。 ■後期U-11リーグの女子選手についてはチーム所属の一歳上選手（6年生）の参加を認める。
選手の登録	1	前項の資格を有する選手の登録人数は制限されない。	エントリーチームの登録制限に関する人数制限規定は設けない。
	2	前項の資格を有する選手の年齢条件は制限されない。	■U-11（5年生）以下の選手であっても参加できる。
	3	KICKOFFより印刷した「チーム登録選手一覧表」がエントリー票となります。 エントリー票は、 各リーグ開幕までに各グループ実行委員会に提出する。 チーム役員・選手に変更がある場合は再提出が必要となる。	選手の登録は通常どおりKICKOFF「チーム・選手」で登録された選手であることが必要となります。 リーグ戦に出場するためには、追加登録の最終承認後、登録料の支払い終了後となります。 ※4種リーグ戦においてはカテゴリーに関わらず大会エントリーシステムは使用しない。
試合方法	1	試合時間は、40分（20分ハーフ）とし、ハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。延長は行わない。	選手への出場機会、プレー機会の確保を担保するため、20分ハーフの試合時間とする。後期「U-11」の試合においてもこれまでの15分ハーフではなく、20分ハーフで行います。
	2	競技規則は当該年度財団法人日本サッカー協会の競技規則、ならびに8 人制サッカールールと審判法をベースに、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインに基づき行う。 期間中競技規則の改定がある場合は4種理事会の決定に従う。	※JFA8人制サッカー競技規則（2020年12月1日発行） https://www.jfa.jp/documents/pdf/eight/rules.pdf
審判	1	一人制審判：主審1名、補助審判1名で行う。	主審と補助審判の役割等については、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインにおいて規定する。
	2	競技規則当該年度財団法人日本サッカー協会の競技規則、ならびに8人制サッカールールと審判法をベースに、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインに基づき行う。	※JFA8人制サッカー競技規則（2020年12月1日発行）

項目		内　容	説　明
ルール	1	競技規則は当該年度財団法人日本サッカー協会の競技規則、ならびに8 人制サッカールールと審判法をベースに、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインに基づき行う。	ベンチ入り指導者の有資格化は、グラスルーツ・競技としてのサッカーどちらにも必要であり。リーグ戦導入の考え方に合致するものである。「日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、個々の選手を育てると共に育成の環境整備・研修の場として山梨県U-12リーグを開催する。」
	2	警告、退場などの取り扱いは、これまでの4種大会に準じて行う。	警告、退場等の取り扱いについては、山梨県U-12リーグ実施のガイドラインにおいて規定する。
ユニフォーム	1	メンバー表に記載した正・副2着のユニフォーム（シャツ、ショーツ、及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。	競技者の用具については山梨県U-12リーグ実施のガイドラインに記載していましたが、2020年度より「選手の用具に関する運用緩和」に関し ①ソックステープ等の色、 ②アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツの色、 ③正・副2着のユニフォームの準備と組合せの決定について、各競技会のレベルに応じた選手の用具に関する運用緩和の内容に沿った運用とするため、本レギュレーションに内容を明記することとした。 ④ゴールプレーヤーの交代について、フィールドプレーヤーがGKとなる場合は、フィールドプレーヤーはサブユニフォームのシャツを着用することを認める。
	2	◎選手の用具 ①本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。 ②正・副の2 色については明確に異なる色とする。 ③ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっていても、本大会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。 ④ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。 ⑤審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。 ⑥前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。 ⑦ソックスに テープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場 合、ソックスと同色でなくても良い。 ⑧アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。 ⑨アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。 ⑩参加申込の際に登録した選手番号を付けること。シャツの前面及びショーツの選手番号はつけることが望ましい。 ⑪ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会 第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、日本サッカー協会に承認された場合にのみ認められる。	
グループ順位決定	1	試合の勝者は3点、引き分けは1点、敗者は0点の勝点が与えられ、勝点の多い順に、順位を決定する。ただし、最終合計点が同一の場合には、以下の順序により決定する。	
		勝ち点が同一 〈1〉得失点差　〈2〉総得点の多少　〈3〉該当チームの対戦成績	
	2	「チームの都合」によりグループリーグに出場できず不戦敗となる場合や、「予期せぬ理由」により没収試合となる場合は、その扱いを0-5のスコアとする。	本リーグは予め決められたマッチデーに開催される4種公式戦です。 「予期せぬ事情」とは ①試合中に競技選手の数が6人を下回った場合 ②リーグ中に試合の消化が不可能となる要因が生じた場合 U-12リーグは山梨県4種委員会公式戦として開催され、これに優先する地域大会等はないことを理解の上実施されるものとする。
入れ替え	1	①U-12リーグ編成時に、前年度U-11リーグGグループ下位と同Pグループ上位による入れ替え戦を行う。	より拮抗したリーグ戦、チャレンジできる環境の構築を目的に入れ替え戦を導入します。 ■入替戦については参加の特例「参加資格7」のオーバーエイジ女子選手の出場は認めていません。 地域推薦とは、新規参入チームや既存チームでも6年生が少ないなど5年生が高レベルであるなど、地域において実力が認められ、地域推薦を得られる場合にU-11リーグ編成時限り入れ替え戦に出場することを認める。
	2	②U-11リーグ編成時に、同年度U-12リーグGグループ下位と同Pグループ上位による入れ替え戦を行う。 ※地域推薦により運営委員会で認めれたチームはU-11リーグ編成時に限り入れ替え戦に参入することが出来る。	
	3	入れ替え戦は、リーグ戦順位により予め決められた組合せにより実施する。 ①入れ替え戦はU-11リーグに出場する5年生以下のチームで実施する。 ②試合時間は20分5分20分とし、時間内に勝敗が決しない場合は10分（5分×5分)の延長戦を行い、尚決しない場合はPK戦（3人）方式で昇格チームを決定する。	入れ替え戦の日程については年間スケジュールを作成する中で調整をしていく。 半日程度で終了する対戦とすることで1試合の結果に注目した取り組みとなる。一貫的育成リーグの主旨を実現する意味からもトライする場を提供したい。
	4	①チャレンジエントリーでPグループに出場しているU-11チームがPグループ1位、2位となった場合は入れ替え出場対象から除外する。その場合、入れ替え戦出場の繰り上げチームはなし、当該入れ替え戦は実施しない。 ②U-12リーグGｸﾞﾙｰﾌﾟでの結果にかかわらず、移行するU-11チームの編成が困難でU-11リーグGグループ在籍を希望しないチームが生じた場合は、U-11リーグPグループ又はSグループへの降格を認める。	■Gグループに参加しているチームの2チーム目がPグループ1位・2位となった場合をいう。 ※但し、Gグループに参加していない場合は、入れ替え戦に出場することが出来る。

項目	内　容		説　明
シード	1	本リーグ成績によるシードについて 「JFAU-12選手権山梨県大会」シード16チームに反映する。 ①JFAU-12リーグ終了後チャンピオンズリーグ成績順に8チーム。 ②Gグループ上位8チーム。	※ニッサングリーンカップシードは、JFAU-12選手権山梨県大会上位8チームとなります。
表彰	1	各グループリーグにおいて、それぞれ1位となったチームを表彰する。	
	2	フェアプレー賞を設け表彰する。 フェアプレー賞の意義を再確認し表彰要件を共有する。	(フェアプレー賞の選考) フェアプレー賞の選考は、グリーンカードの活用、自立した選手、リスペクトの姿勢なども含め新たに【U-12リーグフェアプレー表彰選考内規】を定める。 YFA4種委員会より表彰